

press release

2010年4月1日

(これは、ロンドンにて2010年3月23日付で配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

スタンダードチャータード銀行、 4年連続で「世界で最も倫理的な企業」の1社に選ばれる

エシスフィア・インスティテュートによる
年次企業倫理ランキング(全業界対象)で、
群を抜くリーダーシップを評価

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ/東京支店:千代田区 CEO:パトリック・ジロ)は、エシスフィア・インスティテュート(Ethisphere Institute)による企業倫理ランキングにおいて、「世界で最も倫理的な企業(World's Most Ethical Companies)2010」の1社に選ばれました。当行は、同賞へ最多のノミネート回数を重ねてきましたが、今回、顧客の皆様や事業拠点を置く広域コミュニティの利益に主眼を置いた、サステナビリティ(持続可能性)のあるビジネス構築への継続的な取り組みが認められ、受賞の栄誉を手にすることができました。

エシスフィア・インスティテュートからの今回の授与は、当行が厳格な商慣行(ビジネスプラクティス)を実践し、企業の成功に向けての後押しとコミュニティへの貢献、金融業界における倫理水準向上のための構想・戦略展開に尽力していることに対する評価の賜物といえます。

スタンダードチャータード銀行在日総支配人(CEO)であるパトリック・ジロは、次のように述べています。「スタンダードチャータード銀行の成功の根源は、企業価値に重きを置いた堅固な社風にあります。私どもには、責任のある銀行経営、顧客の皆様や従業員、そしてコミュニティの利益に対する貢献、という確固たるコミットメント(公約)があります。この度は、私どもが定め、日々遵守の努力を怠らない高い倫理基準を評価していただき、光栄の至りです」

エシスフィア・インスティテュートは、調査に基づき、商業倫理、企業の社会的責任、腐敗防止、サステナビリティ(持続可能性)に関するベストプラクティスの確立、促進、共有をめざすシンクタンクですが、同インスティテュートが、初めて「世界で最も倫理性の高い企業」ランキング(WME ランキング)を公表してから今年で4年目となります。

今年は、世界100カ国、36業種からノミネートされた数千に及ぶ企業を対象とした精査および複数段階の分析に基づく審査の上、受賞選定が行なわれました。

エシスフィア・インスティテュートの常任理事を務めるアレックス・ブリガム氏は、「スタンダードチャータード銀行の倫理に基づく健全な環境作りへの取り組みは、業界の中でもひととき異彩を放つものであり、(同行が)単なる『グッドウィル(企業に対する好意・信頼)』や『リップサービス』を超える、最高水準のビジネスプラクティスに基づく業務遂行について明確に理解していることを示唆しています。また、それがスタンダードチャータード銀行の実績と収益にしっかりと結びついているのです。今年のWMEランキングの選定については、企業が、昨今の厳しい経済環境下において企業倫理

の策定が最重要課題であると認識していることから、これまで以上に厳しいものとなりました」と、コメントしています。

また、同氏は、「法令遵守に対する義務違反や企業倫理の不履行は、企業に違約金支払いや処罰以上の影響を及ぼします。指導体制の崩壊と交代、そして経営利益モデルのやむをえない転換や監視体制の強化を経て、(企業は)健全な企業倫理がより良いビジネスに結びつくことが分かったのです」と、述べています。

エシスフィア・インスティテュートによる WME ランキングの選定は、企業の倫理規定、訴訟および法律違反の有無、技術革新やサステナビリティのあるビジネス手法に対する投資、社会福祉や環境保全等を目的とした企業市民活動の向上を目指した取り組みに対する検証の他、経営幹部、同業他社、供給業者、顧客による推薦も考慮に入れた上で行われています。

「世界で最も倫理的な企業 2010」の選出方法・ランキングリストについては、以下のサイトをご覧ください。

<http://ethisphere.com/wme-2010>

本件に関するお問い合わせは下記にて受け付けます。

スタンダードチャータード銀行
コーポレートアフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245/ Fax: 03-5511-9333
CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード銀行ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータードPLCは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位20 社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150 年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。グループの営業収益および税引き前利益については、7年にわたり継続して最高益を更新していますが、これは事業母体からの収益成長(オーガニック成長)によるものです。

また、スタンダードチャータード銀行は、各国市場のお客様に注力した世界最高の国際銀行を目指しています。グループの営業収益および税引き前利益の約9割は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキングおよびコンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余の店舗展開をするグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125の国籍により構成される総勢75,000 余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は約70 に及んでいます。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で130年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約290名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

www.standardchartered.co.jp/index_english.html

エシスフィア・インスティテュートについて

エシスフィア・インスティテュート(Ethisphere Institute)は、調査に基づき、商業倫理、企業の社会的責任、腐敗防止、サステナビリティ(持続可能性)に関するベストプラクティスの確立、促進、共有をめざす世界的に有名な国際的なシンクタンクです。関連団体であるエシスフィア・カウンシル(Ethisphere Council)は、商業倫理をテーマとして200を超える著名な企業、大学、研究機関を加盟団体として構成されたフォーラムで、効率性の向上、技術革新、手法、指導、アドバイス、また独自の就業機会の提供により、加盟団体関係者の発展と進歩に寄与しています。国際的にも評価が高い「世界で最も倫理的な企業ランキング(World's Most Ethical Companies RankingTM)」を掲載するエシスフィア・マガジン(Ethisphere Magazine)は、エシスフィア・インスティテュート発行の季刊誌です。ランキングプロジェクトおよび加盟団体等、エシスフィア・インスティテュートについての詳細は、www.ethisphere.comをご覧ください。